

編集後記

恵みの秋(とき)になり、自然への畏敬をいつそう覚えます。昔人は秋祭りを通じて神への感謝を念じました。今、平成八年十月は衆議院議員選挙の真最中、政界再編や非加熱製剤の問題など、後世の史家はどのように筆を振るうのでしょうか。

小野氏は県下の城郭研究の第一人者。府内城天守について城絵図などから精緻な考証をいただきました。鳥養氏には前号に引き続いてその力作の続編をいただきました。坪根氏・塩地氏からは最近の発掘調査の成果から、長い間の基本課題である豊後国府についての報告が寄せられ、今後の発掘成果がおおいに期待されるところです。平井氏が紹介された新収集の稻葉家文書は近年の史料収集の最大の成果です。早めの全面公開が望れます。